

安全データシート

作成日 2020年05月26日
改訂日 2023年08月10日

1. 化学品及び会社情報

製品名 KF シールテクト 33-3 硬化剤
会社名 KF ケミカル株式会社
住所 東京都港区新橋1丁目1番1号 日比谷ビルディング 9F
電話番号 03-6629-9033
FAX番号 03-6629-9023
推奨用途

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|-------------------|----------|
| 引火性液体: | 区分に該当しない |
| 急性毒性 | |
| 経口: | 区分4 |
| 経皮: | 区分4 |
| 吸入(気体): | 区分に該当しない |
| 吸入(蒸気): | 区分4 |
| 吸入(粉じん、ミスト): | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性: | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: | 分類できない |
| 感作性 | |
| 呼吸器: | 分類できない |
| 皮膚: | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性: | 分類できない |
| 発がん性: | 分類できない |
| 生殖毒性: | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露): | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露): | 分類できない |
| 誤えん有害性: | 分類できない |
| 水生環境有害性 | |
| 短期(急性): | 分類できない |
| 長期(慢性): | 分類できない |
| オゾン層への有害性: | 分類できない |

GHSラベル要素



警告

危険有害性情報:

H302 飲み込むと有害
H312 皮膚に接触すると有害
H332 吸入すると有害

注意書き:

《安全対策》

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)

取扱い後はよく洗うこと。(P264)

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)

保護手袋／保護衣を着用すること。(P280)

《応急措置》

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。(P301 + P312 + P330)

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302 + P352)

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。(P304 + P340 + P312)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362 + P364)

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

GHS分類に該当しない他の危険有害性

有害性:

知見なし

環境影響:

知見なし

物理的及び化学的危険性:

可燃性があるので、火気に注意する。

重要な徴候:

特になし

想定される非常事態の概要:

特になし

国/地域情報:

引火性液体

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

化学名又は一般名:

ポリイソシアネート類

化学式:

〈ヘキサメチレン=ジイソシアネート〉

C₈H₁₂N₂O₂

濃度又は濃度範囲:

| 化学名又は一般名 | 略号 | 濃度又は濃度範囲 | 官報公示整理番号 | | CAS RN(R) |
|------------------|----|----------|----------|--------|-----------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | — | 1%未満 | 2-2863 | 2-2863 | 822-06-0 |

法規制対象成分:

| 成分 | 安衛法 | PRTR法 |
|------------------|-------------|--------------|
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 通知対象物 第519号 | 指定化学物質に該当しない |

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物:

特になし

4. 応急措置

吸入した場合：

呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。

体を毛布等でおおい、保温して安静を保つ。

直ちに医師の手当てを受ける。

被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動させる。

皮膚に付着した場合：

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当てを受ける。

製品に触れた部分を直ちに水または微温湯を流しながら洗浄する。

石鹼を使ってよく落とす。

大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

必要であれば衣類、靴などを切断する。

付着物を布にて素早く拭き取る。

眼に入った場合：

出来るだけ速く医師の診断を受けること。

清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

飲み込んだ場合：

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

直ちに医師の処置を受ける。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

無理に吐かせてはならない。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状：

特になし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

汚染された衣類や保護具を取り除く。

救助者が有害物質に触れたり、吸入したりしないよう適切な保護具を使用するなど注意する。

適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

医師に対する特別な注意事項：

特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

炭酸ガス、泡、粉末

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤：

水(棒状水、高圧水)

冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性:

特になし

特有の消火方法:

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。

指定の消火剤を使用すること。

周囲の設備等に散水して冷却する。

消火のための放水等により、環境に製品が流出しないよう適切な措置を行う。

消火作業は可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:

消火活動は風上より行う。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、給気式呼吸用保護具)を着用する。

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ろ過式呼吸用保護具、給気式呼吸用保護具等を着用する。

環境に対する注意事項:

河川への排出により、環境への影響を起こさないように注意する。

流出した製品が河川や下水等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材:

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

衝撃、静電気にて火災が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

二次災害の防止策:

火花を発生しない安全な用具を使用する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

- 換気のよい場所で取り扱う。
- 取扱いは、換気のよい場所で行う。
- 取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。
- 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- 容器はその都度密栓する。
- 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

局所排気・全体換気:

特になし

安全取扱注意事項:

- 炎、火花、高温体との接触を避ける。
- 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
- 取扱う場合は、局所排気内で取扱う。

衛生対策:

作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

保管

技術的対策:

- 通風のよいところに保管する。
- 日光の直射を避ける。

安全な保管条件:

- 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- 火気厳禁。
- 直射日光を避け、換気のよい場所で、容器を密閉し保管する。
- 保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。

安全な容器包装材料:

適切な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

許容濃度:

| | | | |
|------------------|----------|-----|-------|
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 0.005ppm | TWA | ACGIH |
|------------------|----------|-----|-------|

保護具

呼吸用保護具:

- その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。
- 必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、送気マスク等を使用する。

手の保護具:

- 保護手袋を着用する。
- 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼/顔面の保護具:

取扱いには保護メガネを着用すること。
保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具:

取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|------------------|-----------------------|
| 物理状態: | 液体 |
| 色: | 淡黄色 |
| 臭い: | なし |
| 融点/凝固点: | |
| 製品 | データなし |
| 沸点: | |
| 製品 | データなし |
| 初留点: | |
| 製品 | データなし |
| 沸騰範囲: | |
| 製品 | データなし |
| 可燃性: | |
| 製品 | データなし |
| 爆発下限界: | |
| 製品 | データなし |
| 爆発上限界: | |
| 製品 | データなし |
| 引火点: | |
| 製品 | 216°C |
| 自然発火点: | |
| 製品 | データなし |
| 分解温度: | |
| 製品 | データなし |
| pH: | |
| | 該当しない |
| 動粘性率: | |
| | 該当しない |
| 溶解度: | |
| 製品 | データなし |
| n-オクタノール/水分配係数: | |
| 製品 | データなし |
| 蒸気圧: | |
| 製品 | データなし |
| 比重(密度及び/又は相対密度): | |
| 製品 | 1.08g/cm ³ |
| 相対ガス密度: | |
| 製品 | データなし |

粒子特性:

該当しない

その他のデータ:

特になし

10. 安定性及び反応性

反応性:

特になし

化学的安定性:

保管の項目記載の保管条件で安定。

危険有害反応可能性:

強酸、強アルカリと反応する恐れがある。

有機物であるため、酸化性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。

避けるべき条件:

直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。

混触危険物質:

特になし

危険有害な分解生成物:

特になし

11. 有害性情報

急性毒性:

| | | | |
|------------------|-----------------|-------------|---------------|
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 105-960mg/kg | 経口ラット(LD50) | NITE 初期リスク評価書 |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 710mg/kg | 経口ラット(LD50) | 産衛学会勧告 |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 746mg/kg | 経口ラット(LD50) | SIDS |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 959mg/kg | 経口ラット(LD50) | SIDS |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 570-599mg/kg | 経皮ラット(LD50) | NITE 初期リスク評価書 |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 599mg/kg | 経皮ラット(LD50) | SIDS |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 8.7ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | 環境省リスク評価 |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 18.2ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | SIDS |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 18.2-50.8ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | NITE 初期リスク評価書 |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 22ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | SIDS |
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | 45ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | SIDS |

皮膚腐食性/刺激性:

データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

データなし

呼吸器感作性/皮膚感作性:

データなし

生殖細胞変異原性:

データなし

発がん性:

データなし

生殖毒性:

データなし

特定標的臓器毒性-単回ばく露:

データなし

特定標的臓器毒性-反復ばく露:

データなし

誤えん有害性:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

データなし

甲殻類:

| | | | |
|------------------|----------------|--------|------|
| ヘキサメチレン=ジイソシアネート | ≥89.1mg/l-48hr | オオミジンコ | SIDS |
|------------------|----------------|--------|------|

藻類:

データなし

残留性/分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壤中の移動性:

データなし

オゾン層への有害性:

データなし

他の有害影響:

製品

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- ・少量廃棄の場合、焼却炉を用いて焼却する。
- ・大量廃棄の場合、産業廃棄物処理業者に引取りを依頼する。

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 分類基準に該当しない

国連番号: 分類基準に該当しない

品名(国連輸送品名):

容器等級: 分類基準に該当しない

海洋汚染物質:

国内規制:

(海上輸送)船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送)航空法の定めるところに従うこと。

(陸上輸送)消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

適用法令を参照

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

特別の安全対策:

特になし

輸送の特定の安全対策及び条件:

火気厳禁。

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。

応急措置指針番号:

15. 適用法令

<製品>

消防法第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第4石油類・非水溶性液体)

<ヘキサメチレン=ジイソシアネート>

化審法第2条第5項 優先評価化学物質

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

毒劇法指定令第2条 劇物

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Y類)

大気汚染防止法 有害大気汚染物質

16. その他の情報

引用文献

<製品>

NITE 化学物質総合情報システム

原材料 SDS

日本塗料工業会編集「GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック」

改訂履歴:

| | |
|-----|-------------|
| 0.0 | 2020年05月26日 |
| 1.0 | 2023年08月10日 |

-
- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
 - (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
 - (3) このデータシートは通常想定される保管方法及び取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
 - (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用ください。
 - (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守のうえ、輸出してください。
-

安全データシート

作成日 2023年08月10日
改訂日

1. 化学品及び会社情報

製品名 KF シールテクト 33-3 主剤
会社名 KF ケミカル株式会社
住所 東京都港区新橋1丁目1番1号 日比谷ビルディング 9F
電話番号 03-6629-9033
FAX番号 03-6629-9023
推奨用途 建築用塗料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体: 区分3
急性毒性
経口: 区分に該当しない
経皮: 区分に該当しない
吸入(気体): 区分に該当しない
吸入(蒸気): 区分に該当しない
吸入(粉じん、ミスト): 区分4
皮膚腐食性/刺激性: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2
感作性
呼吸器: 区分に該当しない
皮膚: 区分1
生殖細胞変異原性: 区分に該当しない
発がん性: 区分2
生殖毒性: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分2(呼吸器)
誤えん有害性: 分類できない
水生環境有害性
短期(急性): 区分に該当しない
長期(慢性): 区分に該当しない
オゾン層への有害性: 分類できない

GHSラベル要素



警告

危険有害性情報:

H226 引火性液体及び蒸気
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激
H332 吸入すると有害
H351 発がんのおそれの疑い
(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ
(麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ

長期または反復暴露による臓器(呼吸器)の障害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

- 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
- 容器を密閉しておくこと。(P233)
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。(P241)
- 火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
- 静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

《応急措置》

- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302 + P352)
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303 + P361 + P353)
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304 + P340)
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。(P304 + P340 + P312)
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305 + P351 + P338)
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P308 + P313)
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P333 + P313)
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P337 + P313)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362 + P364)
- 取り扱い後は、手を洗うこと。(P264)

《保管》

- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403 + P235)
- 施錠して保管すること。(P405)

《廃棄》

- 内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

GHS分類に該当しない他の危険有害性

有害性:

知見なし

環境影響:

知見なし

物理的及び化学的危険性:

可燃性がある。

熱、火花及び火炎で着火することがある。

重要な徴候:

特になし

想定される非常事態の概要:

特になし

国/地域情報:

引火性液体

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

化学名又は一般名:

アクリルホリオール樹脂塗料

化学式:

- <酸化チタン(IV)>
TiO₂
- <メタクリル酸メチル>
C₅H₈O₂
- <ベンジルアルコール>
C₇H₈O
- <シリカ(非晶質)>
SiO₂
- <ビス-(1,2,2,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジル)セバケート>
C₃₀H₅₆N₂O₄
- <カーボンブラック>
C
- <ジブチル錫ジラウレート>
C₃₂H₆₄O₄Sn

濃度又は濃度範囲:

| 化学名又は一般名 | 略号 | 濃度又は濃度範囲 | 官報公示整理番号 | | CAS RN(R) |
|------------------------------------|----|----------|----------|----------|-------------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| 酸化チタン(IV) | — | 1 ~ 10% | 1-558 | 1-558 | 13463-67-7 |
| フュームド無定型シリカ | — | 1 ~ 5% | 1-548 | 1-548 | 112945-52-5 |
| メタクリル酸メチル | — | 1%未満 | 2-1036 | 2-1036 | 80-62-6 |
| ベンジルアルコール | — | 0.1 ~ 3% | 3-1011 | 3-1011 | 100-51-6 |
| シリカ(非晶質) | — | 0.1~3% | 1-548 | 1-548 | 7631-86-9 |
| ビス-(1,2,2,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジル)セバケート | — | 0.1 ~ 3% | 5-5501 | 8-1-1709 | 41556-26-7 |
| カーボンブラック | — | 1%未満 | 5-5222 | 5-5222 | 1333-86-4 |
| ジブチル錫ジラウレート | — | 1%未満 | 2-2330 | 2-2330 | 77-58-7 |

法規制対象成分:

| 成分 | 安衛法 | PRTR法 |
|------------------------------------|-----------------------|--------------|
| 酸化チタン(IV) | 表示対象物/通知対象物 第 191 号 | 指定化学物質に該当しない |
| フュームド無定型シリカ | 表示・通知対象物に該当しない | 指定化学物質に該当しない |
| メタクリル酸メチル | 通知対象物 第 557 号 | 指定化学物質に該当しない |
| ベンジルアルコール | 表示・通知対象物に該当しない | 指定化学物質に該当しない |
| シリカ(非晶質) | 表示対象物/通知対象物 第 165-2 号 | 指定化学物質に該当しない |
| ビス-(1,2,2,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジル)セバケート | 表示・通知対象物に該当しない | 指定化学物質に該当しない |
| カーボンブラック | 通知対象物 第 130 号 | 指定化学物質に該当しない |
| ジブチル錫ジラウレート | 通知対象物 第 322 号 | 指定化学物質に該当しない |

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物:

特になし

4. 応急措置

吸入した場合:

- 呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
- 体を毛布等でおおい、保温して安静を保つ。
- 直ちに医師の手当を受ける。
- 被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動させる。

皮膚に付着した場合:

- 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
- 汚染された衣類を取り除くこと。
- 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当を受ける。
- 製品に触れた部分を直ちに水または微温湯を流しながら洗浄する。
- 石鹼を使ってよく落とす。
- 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- 必要であれば衣類、靴などを切断する。
- 付着物を布にて素早く拭き取る。

眼に入った場合:

- 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
- 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- 直ちに、医師に連絡すること。
- 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

飲み込んだ場合:

- 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- 直ちに医師の処置を受ける。
- 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
- 必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。
- 無理に吐かせてはならない。
- 嘔吐物は飲み込ませないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状:

特になし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項:

- 汚染された衣類や保護具を取り除く。
- 救助者が有害物質に触れたり、吸入したりしないよう適切な保護具を使用するなど注意する。
- 適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

医師に対する特別な注意事項:

特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

- 炭酸ガス、泡、粉末
- 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤:

- 水(棒状水、高圧水)
- 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性:

特になし

特有の消火方法:

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。

指定の消火剤を使用すること。

周囲の設備等に散水して冷却する。

消火のための放水等により、環境に製品が流出しないよう適切な措置を行う。

消火作業は可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:

消火活動は風上より行う。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、給気式呼吸用保護具)を着用する。

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ろ過式呼吸用保護具、給気式呼吸用保護具等を着用する。

環境に対する注意事項:

河川への排出により、環境への影響を起こさないように注意する。

流出した製品が河川や下水等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材:

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

衝撃、静電気にて火災が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

二次災害の防止策:

火花を発生しない安全な用具を使用する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

- 過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
- 換気のよい場所で取り扱う。
- 取扱いは、換気のよい場所で行う。
- 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。
- 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- 容器はその都度密栓する。
- 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

局所排気・全体換気:

特になし

安全取扱注意事項:

- 炎、火花、高温体との接触を避ける。
- 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
- 取扱う場合は、局所排気内で取扱う。

衛生対策:

作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

保管

技術的対策:

- 通風のよいところに保管する。
- 日光の直射を避ける。

安全な保管条件:

- 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- 火気厳禁。
- 直射日光を避け、換気のよい場所で、容器を密閉し保管する。
- 保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。

安全な容器包装材料:

適切な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

許容濃度:

| | | | |
|-------------|--------------------|---------------|----------|
| 酸化チタン(IV) | 4mg/m3(total Dust) | TWA | 日本産業衛生学会 |
| 酸化チタン(IV) | 10mg/m3 | TWA | ACGIH |
| フュームド無定型シリカ | 8mg/m3(total Dust) | TWA | 日本産業衛生学会 |
| メタクリル酸メチル | 2ppm | TWA | 日本産業衛生学会 |
| メタクリル酸メチル | 50ppm | TWA | ACGIH |
| メタクリル酸メチル | 100ppm | STEL | ACGIH |
| ベンジルアルコール | 25mg/m3 | Ceiling limit | 日本産業衛生学会 |
| シリカ(非晶質) | 8mg/m3(total Dust) | TWA | 日本産業衛生学会 |
| シリカ(非晶質) | 10mg/m3 | TWA | ACGIH |
| カーボンブラック | 3mg/m3 | TWA | ACGIH |
| カーボンブラック | 4mg/m3(total Dust) | TWA | 日本産業衛生学会 |
| ジブチル錫ジラウレート | 0.1mg/m3(Sn) | TWA | ACGIH |
| ジブチル錫ジラウレート | 0.2mg/m3(Sn) | STEL | ACGIH |

保護具

呼吸用保護具:

作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、送気マスク等を使用する。

手の保護具:

保護手袋を着用する。
有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼/顔面の保護具:

取扱いには保護メガネを着用すること。
保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具:

取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------|---------|
| 物理状態: | 液体 |
| 色: | グレー |
| 臭い: | 溶剤臭 |
| 融点/凝固点: | |
| 製品 | データなし |
| 沸点: | |
| 製品 | 145.8°C |
| 初留点: | |
| 製品 | データなし |
| 沸騰範囲: | |
| 製品 | データなし |
| 可燃性: | |
| 製品 | データなし |
| 爆発下限界: | |
| 製品 | 1.1Vol% |
| 爆発上限界: | |
| 製品 | 8.7Vol% |

| | | |
|------------------|--|----------------------|
| 引火点: | | |
| 製品 | | 49°C |
| 自然発火点: | | |
| 製品 | | 333°C |
| 分解温度: | | |
| 製品 | | データなし |
| pH: | | |
| | | 該当しない |
| 動粘性率: | | |
| | | 該当しない |
| 溶解度: | | |
| 製品 | | データなし |
| n-オクタノール/水分配係数: | | |
| 製品 | | データなし |
| 蒸気圧: | | |
| 製品 | | データなし |
| 比重(密度及び/又は相対密度): | | |
| 製品 | | 1.1g/cm ³ |
| 相対ガス密度: | | |
| 製品 | | データなし |
| 粒子特性: | | |
| | | 該当しない |
| その他のデータ: | | |
| | | 特になし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-------------|------------------------------------|
| 反応性: | |
| | 特になし |
| 化学的安定性: | |
| | 保管の項目記載の保管条件で安定。 |
| 危険有害反応可能性: | |
| | 強酸、強アルカリと反応する恐れがある。 |
| | 有機物であるため、酸化性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。 |
| 避けるべき条件: | |
| | 直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。 |
| 混触危険物質: | |
| | 特になし |
| 危険有害な分解生成物: | |
| | 特になし |

11. 有害性情報

急性毒性:

| | | | |
|-----------|---------------|-------------|----------|
| 酸化チタン(IV) | > 2,000mg/kg | 経ロラット(LD50) | SIDS |
| 酸化チタン(IV) | > 5,000mg/kg | 経ロラット(LD50) | SIDS |
| 酸化チタン(IV) | > 10,000mg/kg | 経ロラット(LD50) | HSDB |
| 酸化チタン(IV) | > 12,000mg/kg | 経ロラット(LD50) | 環境省リスク評価 |

| | | | |
|------------------------------------|------------------|---------------|-----------|
| 酸化チタン(IV) | > 20,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | 環境省リスク評価 |
| 酸化チタン(IV) | > 10,000mg/kg | 経皮モルモット(LD50) | HSDB |
| 酸化チタン(IV) | > 5.09mg/l | 吸入ラット(LC50) | SIDS |
| フュームド無定型シリカ | > 5,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | 提供会社 MSDS |
| フュームド無定型シリカ | > 5,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | 提供会社 MSDS |
| メタクリル酸メチル | 7,800mg/kg | 経口ラット(LD50) | ACGIH |
| メタクリル酸メチル | 7,900mg/kg | 経口ラット(LD50) | ECETOC |
| メタクリル酸メチル | 8,500mg/kg | 経口ラット(LD50) | ECETOC |
| メタクリル酸メチル | 9,400mg/kg | 経口ラット(LD50) | ECETOC |
| メタクリル酸メチル | > 5,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | EU-RAR |
| メタクリル酸メチル | 7,093ppm | 吸入ラット(LC50) | ACGIH |
| ベンジルアルコール | 1,200mg/kg | 経口ラット(LD50) | NITE 総合検索 |
| ベンジルアルコール | 1,230mg/kg | 経口ラット(LD50) | 環境省リスク評価 |
| ベンジルアルコール | 1,600mg/kg | 経口ラット(LD50) | NITE 総合検索 |
| ベンジルアルコール | 1,610mg/kg | 経口ラット(LD50) | PATTY |
| ベンジルアルコール | 1,660mg/kg | 経口ラット(LD50) | PATTY |
| ベンジルアルコール | 2,080-2,100mg/kg | 経口ラット(LD50) | PATTY |
| ベンジルアルコール | 3,100mg/kg | 経口ラット(LD50) | PATTY |
| ベンジルアルコール | 2,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | 環境省リスク評価 |
| ベンジルアルコール | > 4.178mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | SIDS |
| シリカ(非晶質) | > 2,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | SIDS |
| シリカ(非晶質) | > 3,160mg/kg | 経口ラット(LD50) | EPA |
| シリカ(非晶質) | > 3,300mg/kg | 経口ラット(LD50) | SIDS |
| シリカ(非晶質) | > 5,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | SIDS |
| シリカ(非晶質) | > 5,110mg/kg | 経口ラット(LD50) | SIDS |
| シリカ(非晶質) | > 2,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | SIDS |
| シリカ(非晶質) | > 5,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | SIDS |
| ビス-(1,2,2,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジル)セバケート | 2,369-3,920mg/kg | 経口ラット(LD50) | IUCLID |
| カーボンブラック | > 8,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | SIDS |
| カーボンブラック | > 10,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | SIDS |
| カーボンブラック | > 3,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | RTECS |
| ジブチル錫ジラウレート | 45mg/kg | 経口ラット(LD50) | EHC |
| ジブチル錫ジラウレート | 175mg/kg | 経口ラット(LD50) | 環境省リスク評価 |
| ジブチル錫ジラウレート | 243mg/kg | 経口ラット(LD50) | EHC |
| ジブチル錫ジラウレート | > 2,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | 環境省リスク評価 |
| ジブチル錫ジラウレート | 0.075mg/l-4hr | 吸入マウス(LC50) | 環境省リスク評価 |

皮膚腐食性/刺激性:

データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

データなし

呼吸器感作性/皮膚感作性:

データなし

生殖細胞変異原性:

データなし

発がん性:

データなし

生殖毒性:

データなし

特定標的臓器毒性-単回ばく露:

データなし

特定標的臓器毒性－反復ばく露:

データなし

誤えん有害性:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

| | | | |
|------------------------------------|-------------------|----------|----------|
| 酸化チタン(IV) | > 100mg/l-96hr | ヒメダカ | SIDS |
| フュームド無定型シリカ | > 10,000mg/l-96hr | ゼブラフィッシュ | 提供会社 SDS |
| ベンジルアルコール | 10mg/l-96hr | ブルーギル | 環境省リスク評価 |
| ビス-(1,2,2,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジル)セバケート | 0.97mg/l-96hr | ブルーギル | IUCLID |
| カーボンブラック | > 1,000mg/l-96hr | ゼブラフィッシュ | SIDS |

甲殻類:

| | | | |
|------------------------------------|------------------|--------|----------|
| 酸化チタン(IV) | > 100mg/l-48hr | オオミジンコ | SIDS |
| フュームド無定型シリカ | > 1,000mg/l-24hr | オオミジンコ | 提供会社 SDS |
| メタクリル酸メチル | 48mg/l-48hr | オオミジンコ | EU-RAR |
| ビス-(1,2,2,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジル)セバケート | 20mg/l-24hr | ミジンコ | IUCLID |
| カーボンブラック | > 5,600mg/l-24hr | オオミジンコ | SIDS |
| ジブチル錫ジラウレート | 0.66mg/l-48hr | オオミジンコ | ECETOC |

藻類:

| | | | |
|-----------|-------------------|----|------|
| 酸化チタン(IV) | > 100mg/l-72hr | 緑藻 | SIDS |
| カーボンブラック | > 10,000mg/l-72hr | 緑藻 | SIDS |

残留性/分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

データなし

オゾン層への有害性:

データなし

他の有害影響:

製品

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- ・少量廃棄の場合、焼却炉を用いて焼却する。
- ・大量廃棄の場合、産業廃棄物処理業者に引取りを依頼する。

特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。

廃塗料などを焼却する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体
 国連番号: 1263
 品名(国連輸送品名): PAINT or PAINT RELATED MATERIAL
 容器等級: III
 海洋汚染物質:

国内規制:

(海上輸送)船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送)航空法の定めるところに従うこと。

(陸上輸送)消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

適用法令を参照

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

特別の安全対策:

特になし

輸送の特定の安全対策及び条件:

火気厳禁。

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。

応急措置指針番号:

128:塗料(引火性)

15. 適用法令

<製品>

労働安全衛生法施行令別表1-4 引火性の物

消防法第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第2石油類・非水溶性液体)

<酸化チタン(IV)>

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Z類)

<メタクリル酸メチル>

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質
労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物
労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物
労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物
海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Y類)
大気汚染防止法 有害大気汚染物質

<ベンジルアルコール>

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物
労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物
労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物
海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Y類)

<シリカ(非晶質)>

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物
労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物
労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物
海洋汚染防止法施行令別表第1の2 有害でない物質

<カーボンブラック>

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物
労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物
労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

<ジブチル錫ジラウレート>

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質
労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物
労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物
労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物
海洋汚染防止法 海洋汚染物質(P)
大気汚染防止法 有害大気汚染物質

16. その他の情報

引用文献

<製品>

NITE 化学物質総合情報システム
原材料 SDS
日本塗料工業会編集「GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック」

改訂履歴:

0.0 2023年08月10日

-
- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
 - (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
 - (3) このデータシートは通常想定される保管方法及び取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用ください。
 - (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守のうえ、輸出してください。
-

安全データシート

作成日 2021年11月05日
改訂日 2024年06月19日

1. 化学品及び会社情報

製品名 KFウレタンプライマー 50N
会社名 KF ケミカル株式会社
住所 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング9F
担当者(作成者) 根岸 政美
電話番号 03-6629-9033
FAX番号 03-6629-9023

推奨用途及び使用上の制限事項

土木、建築用下塗り塗料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|-------------------|-----------------|
| 引火性液体: | 区分3 |
| 急性毒性 | |
| 経口: | 区分に該当しない |
| 経皮: | 区分に該当しない |
| 吸入(気体): | 区分に該当しない |
| 吸入(蒸気): | 分類できない |
| 吸入(粉じん、ミスト): | 区分2 |
| 皮膚腐食性/刺激性: | 区分1C |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: | 区分1 |
| 感作性 | |
| 呼吸器: | 区分1 |
| 皮膚: | 区分1 |
| 生殖細胞変異原性: | 区分に該当しない |
| 発がん性: | 区分1 |
| 生殖毒性: | 区分に該当しない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露): | 区分3(気道刺激性、麻酔作用) |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露): | 区分1(呼吸器、中枢神経系) |
| 誤えん有害性: | 区分に該当しない |
| 水生環境有害性 | |
| 短期(急性): | 区分2 |
| 長期(慢性): | 区分2 |
| オゾン層への有害性: | 分類できない |

GHSラベル要素



危険

危険有害性情報:

H226 引火性液体及び蒸気
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H330 吸入すると生命に危険
H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
H350 発がんのおそれ
H401 水生生物に毒性
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ
(麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ
長期または反復暴露による臓器(呼吸器、中枢神経系)の障害

注意書き:

《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地しアースをとること。(P240)
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
防毒マスクを着用すること。(P284)

《応急措置》

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301 + P330 + P331)
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。(P302 + P352)
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303 + P361 + P353)
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304 + P340)
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。(P304 + P340 + P310)
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305 + P351 + P338)
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受けること。(P308 + P313)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が緊急に必要である。(P320)
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察／手当てを受けること。(P333 + P313)
呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。(P342 + P311)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362 + P364)
漏出物を回収すること。(P391)
火災の場合:粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、又は二酸化炭素、防災砂を用いて消火すること。(P370 + P378)

《保管》

涼しいところに置くこと。(P235)
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403 + P233)
施錠して保管すること。(P405)

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

GHS分類に該当しない他の危険有害性

有害性:

知見なし

環境影響:

知見なし

物理的及び化学的危険性:

可燃性がある。

熱、火花及び火炎で着火することがある。

重要な徴候:

特になし

想定される非常事態の概要:

特になし

国/地域情報:

引火性液体

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

化学名又は一般名:

ポリイソシアネート類溶液

化学式:

<プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート>

C6H12O3

<1,2,4-トリメチルベンゼン>

C9H12

<ビス(イソシアナトメチル)シクロヘキサン>

C10H14N2O2

<1,3,5-トリメチルベンゼン>

C9H12

<1,2,3-トリメチルベンゼン>

C9H12

<クメン>

C9H12

<メタクリル酸メチル>

C5H8O2

<キシレン>

C8H10

濃度又は濃度範囲:

| 化学名又は一般名 | 略号 | 濃度又は濃度範囲 | 官報公示整理番号 | | CAS RN(R) |
|--------------------------|----|----------|----------|--------|------------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| 低沸点芳香族ナフサ | — | 19.4% | 9-1702 | 9-1702 | 64742-95-6 |
| プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | — | 15 ~ 25% | 2-3144 | 2-3144 | 108-65-6 |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | — | 15.2% | 3-7 | 3-7 | 95-63-6 |
| ビス(イソシアナトメチル)シクロヘキサン | — | 5 ~ 15% | 3-2484 | 3-2484 | 42170-25-2 |
| 1,3,5-トリメチルベンゼン | — | 3.6% | 3-7 | 3-7 | 108-67-8 |
| 1,2,3-トリメチルベンゼン | — | 3.1% | 3-7 | 3-7 | 526-73-8 |
| クメン | — | 1%未満 | 3-22 | 3-22 | 98-82-8 |
| メタクリル酸メチル | — | 1%未満 | 2-1036 | 2-1036 | 80-62-6 |
| キシレン | — | 0.1% | 3-3 | 3-3 | 1330-20-7 |

※成分の含有量について企業秘密であるものは範囲で記載。

法規制対象成分:

| 成分 | 安 衛 法 | PRTR 法 |
|--------------------------|---------------------|-------------------|
| 低沸点芳香族ナフサ | 表示対象物／通知対象物 第 330 号 | 指定化学物質に該当しない |
| プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | 表示・通知対象物に該当しない | 指定化学物質に該当しない |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 表示対象物／通知対象物 第 404 号 | 第一種指定化学物質 第 691 号 |
| ビス(イソシアナトメチル)シクロヘキサン | 表示・通知対象物に該当しない | 指定化学物質に該当しない |
| 1,3,5-トリメチルベンゼン | 表示対象物／通知対象物 第 404 号 | 第一種指定化学物質 第 691 号 |
| 1,2,3-トリメチルベンゼン | 表示対象物／通知対象物 第 404 号 | 第一種指定化学物質 第 691 号 |
| クメン | 通知対象物 第 138 号 | 指定化学物質に該当しない |
| メタクリル酸メチル | 通知対象物 第 557 号 | 指定化学物質に該当しない |
| キシレン | 通知対象物 第 136 号 | 指定化学物質に該当しない |

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物:

特になし

4. 応急措置

吸入した場合:

- 呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
- 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
- 体を毛布等でおおい、保温して安静を保つ。
- 直ちに医師の手当を受ける。
- 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させる。

皮膚に付着した場合:

- 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
- 汚染された衣類を取り除くこと。
- 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当を受ける。
- 製品に触れた部分を直ちに水または微温湯を流しながら洗浄する。
- 石鹼を使ってよく落とす。
- 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- 直ちに、医師に連絡すること。
- 直ちに、全ての汚染された衣類を取り除くこと。
- 皮膚を流水で洗うこと。
- 必要であれば衣類、靴などを切断する。
- 付着物を布にて素早く拭き取る。

眼に入った場合:

- 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
- 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- 直ちに、医師に連絡すること。
- 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

飲み込んだ場合:

- 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- 直ちに医師の処置を受ける。
- 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
- 必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。
- 無理に吐かせてはならない。
- 嘔吐物は飲み込ませないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状:

特になし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項:

- 汚染された衣類や保護具を取り除く。
- 救助者が有害物質に触れたり、吸入したりしないよう適切な保護具を使用するなど注意する。
- 適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

医師に対する特別な注意事項:

特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

- 炭酸ガス、泡、粉末
- 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤:

- 水(棒状水、高圧水)
- 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性:

特になし

特有の消火方法:

- 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- 指定の消火剤を使用すること。
- 周囲の設備等に散水して冷却する。
- 消火のための放水等により、環境に製品が流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火作業は可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:

- 消火活動は風上より行う。
- 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、給気式呼吸用保護具)を着用する。
- 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:

- 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 作業の際には適切な保護具(手袋、防毒マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- 付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
- 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ろ過式呼吸用保護具、給気式呼吸用保護具等を着用する。

環境に対する注意事項:

河川への排出により、環境への影響を起こさないように注意する。

流出した製品が河川や下水等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材:

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

衝撃、静電気にて火災が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

二次災害の防止策:

火花を発生しない安全な用具を使用する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

換気のよい場所で取り扱う。

取扱いは、換気のよい場所で行う。

取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

容器はその都度密栓する。

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

局所排気・全体換気:

特になし

安全取扱注意事項:

炎、火花、高温体との接触を避ける。

機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

取扱う場合は、局所排気内で取扱う。

衛生対策:

作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

保管

技術的対策:

通風のよいところに保管する。

日光の直射を避ける。

安全な保管条件:

火気、熱源から遠ざけて保管する。

火気厳禁。

直射日光を避け、換気のよい場所で、容器を密閉し保管する。

保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。

安全な容器包装材料:

適切な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。

腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露しないような配慮をすること。

密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

許容濃度:

| | | | |
|-----------------|--------|------|----------|
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 25ppm | TWA | 日本産業衛生学会 |
| 1,3,5-トリメチルベンゼン | 25ppm | TWA | ACGIH |
| 1,2,3-トリメチルベンゼン | 25ppm | TWA | ACGIH |
| クメン | 10ppm | TWA | 日本産業衛生学会 |
| クメン | 50ppm | TWA | ACGIH |
| メタクリル酸メチル | 2ppm | TWA | 日本産業衛生学会 |
| メタクリル酸メチル | 50ppm | TWA | ACGIH |
| メタクリル酸メチル | 100ppm | STEL | ACGIH |
| キシレン | 50ppm | TWA | 日本産業衛生学会 |
| キシレン | 100ppm | TWA | ACGIH |
| キシレン | 150ppm | STEL | ACGIH |

保護具

呼吸用保護具:

必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、送気マスク等を使用する。

密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具:

保護手袋を着用する。

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼/顔面の保護具:

取扱いには保護メガネを着用すること。

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具:

取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着ること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------|---------|
| 物理状態: | 液体 |
| 色: | 淡黄色透明 |
| 臭い: | 溶剤臭 |
| 融点/凝固点: | |
| 製品 | データなし |
| 沸点: | |
| 製品 | 130°C |
| 初留点: | |
| 製品 | データなし |
| 沸騰範囲: | |
| 製品 | データなし |
| 可燃性: | |
| 製品 | データなし |
| 爆発下限界: | |
| 製品 | 0.6Vol% |

爆発上限界:
製品 7Vol%

引火点:
製品 45°C

自然発火点:
製品 333°C

分解温度:
製品 データなし

pH:
該当しない

動粘性率:
製品 データなし

溶解度:
製品 データなし

n-オクタノール/水分配係数:
製品 データなし

蒸気圧:
製品 データなし

比重(密度及び/又は相対密度):
製品 1.0g/cm³

相対ガス密度:
製品 データなし

粒子特性:
該当しない

その他のデータ:
特になし

10. 安定性及び反応性

反応性:
特になし

化学的安定性:
保管の項目記載の保管条件で安定。

危険有害反応可能性:
強酸、強アルカリと反応する恐れがある。
有機物であるため、酸化性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。

避けるべき条件:
直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。

混触危険物質:
特になし

危険有害な分解生成物:
特になし

11. 有害性情報

急性毒性:

| | | | |
|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 低沸点芳香族ナフサ | 8,400mg/kg | 経ロラット(LD50) | 提供会社 MSDS |
| 低沸点芳香族ナフサ | > 2,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | 提供会社 MSDS |

| | | | |
|--------------------------|---------------------|---------------|---------------|
| 低沸点芳香族ナフサ | 3,400ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | 提供会社 MSDS |
| プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | > 8,532mg/kg | 経口-雌ラット(LD50) | SIDS |
| プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | > 10,000mg/kg | 経口-雄ラット(LD50) | SIDS |
| プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | > 5,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | SIDS |
| プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | > 19.82mg/l-4hr | 吸入ラット(LD50) | SIDS |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 5,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | 環境省リスク評価 |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 6,000mg/kg | 経口-雄ラット(LD50) | REACH |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 3,550mg/kg | 経口-雄ラット(LD50) | REACH |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 3,280mg/kg | 経口-雌ラット(LD50) | REACH |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 18mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | REACH |
| ビス(イソシアナトメチル)シクロヘキサン | 301-2,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | 提供会社 MSDS |
| ビス(イソシアナトメチル)シクロヘキサン | > 5,000mg/kg | 経皮ラット(LD50) | 提供会社 MSDS |
| ビス(イソシアナトメチル)シクロヘキサン | 0.147-0.239mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | 提供会社 MSDS |
| 1,3,5-トリメチルベンゼン | 4,300-8,642mg/kg | 経口ラット(LD50) | NITE 初期リスク評価書 |
| 1,3,5-トリメチルベンゼン | 5,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | 環境省リスク評価 |
| 1,3,5-トリメチルベンゼン | 24mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | 環境省リスク評価 |
| クメン | 2,700mg/kg | 経口ラット(LD50) | ACGIH |
| クメン | 2,900mg/kg | 経口ラット(LD50) | DFGMAK |
| クメン | 2,910mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-RAR |
| クメン | 3,980mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-RAR |
| クメン | 4,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | EU-RAR |
| クメン | > 3,160mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | DFGMAK |
| クメン | 10,600mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | DFGMAK |
| クメン | 2,645ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | DFGMAK |
| クメン | 3,535ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | 産衛学会勧告 |
| クメン | 39.3mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | DFGMAK |
| メタクリル酸メチル | 7,800mg/kg | 経口ラット(LD50) | ACGIH |
| メタクリル酸メチル | 7,900mg/kg | 経口ラット(LD50) | ECETOC |
| メタクリル酸メチル | 8,500mg/kg | 経口ラット(LD50) | ECETOC |
| メタクリル酸メチル | 9,400mg/kg | 経口ラット(LD50) | ECETOC |
| メタクリル酸メチル | > 5,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | EU-RAR |
| メタクリル酸メチル | 7,093ppm | 吸入ラット(LC50) | ACGIH |
| キシレン | 3,500-8,000mg/kg | 経口ラット(LD50) | NITE 初期リスク評価書 |
| キシレン | 1,700mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | ACGIH |
| キシレン | 4,300mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | ACGIH |
| キシレン | 6,350-6,700ppm/4H | 吸入ラット(LC50) | NITE 初期リスク評価書 |

皮膚腐食性/刺激性:

データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

データなし

呼吸器感作性/皮膚感作性:

データなし

生殖細胞変異原性:

データなし

発がん性:

データなし

生殖毒性:

データなし

特定標的臓器毒性-単回ばく露:

データなし

特定標的臓器毒性-反復ばく露:

データなし

誤えん有害性:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

| | | | |
|------------------------------|----------------|------------|---------------|
| プロピレングリコールモノ メチルエーテルアセテート | > 100mg/l-96hr | ヒメダカ | 環境省生態影響試験 |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 7.72mg/l-96hr | ファットヘッドミノー | REACH |
| キシレン | 3.3mg/l-96hr | ニジマス | NITE 初期リスク評価書 |

甲殻類:

| | | | |
|------------------------------|----------------------|----------|-----------|
| 低沸点芳香族ナフサ | 6.14mg/l-48hr | オオミジンコ | IUCLID |
| プロピレングリコールモノ メチルエーテルアセテート | 370mg/l-48hr | オオミジンコ | 環境省生態影響試験 |
| 1,3,5-トリメチルベンゼン | 6,000 μ g/L(48H) | オオミジンコ | 環境省リスク評価 |
| 1,2,3-トリメチルベンゼン | 2.7mg/l-48hr | オオミジンコ | 環境省リスク評価 |
| クメン | 1.2mg/l-96hr | ミッドシュリンプ | CICAD |
| メタクリル酸メチル | 48mg/l-48hr | オオミジンコ | EU-RAR |

藻類:

| | | | |
|------------------------------|------------------|----|-----------|
| プロピレングリコールモノ メチルエーテルアセテート | > 1,000mg/l-72hr | 緑藻 | 環境省生態影響試験 |
|------------------------------|------------------|----|-----------|

残留性/分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壤中の移動性:

データなし

オゾン層への有害性:

データなし

他の有害影響:

製品

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- ・少量廃棄の場合、焼却炉を用いて焼却する。
- ・大量廃棄の場合、産業廃棄物処理業者に引取りを依頼する。

特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。

廃塗料などを焼却する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体
国連番号: 3286
品名(国連輸送品名): FLAMMABLE LIQUID, TOXIC, CORROSIVE, N.O.S.
容器等級: II
海洋汚染物質:

国内規制:

(海上輸送)船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送)航空法の定めるところに従うこと。

(陸上輸送)消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

適用法令を参照

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。

特別の安全対策:

特になし

輸送の特定の安全対策及び条件:

火気厳禁。

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。

応急措置指針番号:

131:引火性液体(毒性、腐食性)、n.o.s.

15. 適用法令

<製品>

有機溶剤中毒予防規則 第3種有機溶剤

労働安全衛生法施行令別表1-4 引火性の物

消防法第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第2石油類・非水溶性液体)

<低沸点芳香族ナフサ>

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

労働安全衛生法施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号 第3種有機溶剤

<プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート>

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Z類)

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物(2026年4月1日から)

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物(2026年4月1日から)

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物(2026年4月1日から)

<1,2,4-トリメチルベンゼン>

化審法第2条第5項 優先評価化学物質

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(X類)

労働安全衛生規則第577条の2第2項に規定される濃度基準値設定物質(2025年10月1日から)

<1,3,5-トリメチルベンゼン>

化審法第2条第5項 優先評価化学物質

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(X類)

労働安全衛生規則第577条の2第2項に規定される濃度基準値設定物質(2025年10月1日から)

<1,2,3-トリメチルベンゼン>

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(X類)

労働安全衛生規則第577条の2第2項に規定される濃度基準値設定物質(2025年10月1日から)

<クメン>

化審法第2条第5項 優先評価化学物質

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

海洋汚染防止法施行令別表第1の4 危険物

労働安全衛生規則第577条の2第2項に規定される濃度基準値設定物質

<メタクリル酸メチル>

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質
労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物
労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物
労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物
海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Y類)
大気汚染防止法 有害大気汚染物質
労働安全衛生規則第594条の2に規定される皮膚等障害化学物質
労働安全衛生規則第577条の2第2項に規定される濃度基準値設定物質(2025年10月1日から)

<キシレン>

化審法第2条第5項 優先評価化学物質
PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質
労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物
労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物
労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物
労働安全衛生法施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号 第2種有機溶剤
労働安全衛生法施行令別表1-4 引火性の物
毒劇法指定令第2条 劇物
海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Y類)
海洋汚染防止法施行令別表第1の4 危険物
大気汚染防止法 有害大気汚染物質
水質汚濁防止法施行令第3条の3 指定物質
悪臭防止法施行令第1条 特定悪臭物質
労働安全衛生規則第594条の2に規定される皮膚等障害化学物質

16. その他の情報

引用文献

<製品>

NITE 化学物質総合情報システム
原材料 SDS
日本塗料工業会編集「GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック」

改訂履歴:

| | |
|-----|-------------|
| 0.0 | 2021年11月05日 |
| 1.0 | 2024年06月19日 |
| 1.1 | 2024年06月19日 |

-
- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
 - (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
 - (3) このデータシートは通常想定される保管方法及び取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

(4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用ください。

(5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守のうえ、輸出してください。

安全データシート

作成日 2017年04月19日
改訂日 年 月 日

1. 製品及び会社情報

製品名 KFシールテクト テープ200
会社名 KFケミカル株式会社
住所 東京都港区新橋 1丁目 1番 1号 日比谷ビルディング9F
担当者(作成者) 根岸 政美
電話番号 03-6629-9033
FAX番号 03-6629-9023

推奨用途及び使用上の制限事項

コンクリート下地用止水テープ

2. 危険有害性の要約

重要有害性及び影響：知見なし。

特有の危険有害性：該当しない。

GHS分類：分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物（ロール状粘着テープ）

化学品名：該当なし。

成分及び含有量（基材）クロロプレンゴムを主体に鉱油(5.0～10.0wt%)、カーボンブラック(0.5～0.8wt%)を含有。

（粘着剤）：ブチルゴム等を主体に鉱油(4.0～8.0wt%)、カーボンブラック(2.0～6.0wt%)を含有。

官報公示整理番号（化審法、安衛法）：該当なし。

CAS No.：該当なし。

国連分類及び国連番号：該当なし。

4. 応急措置

吸入した場合：知見なし。

皮膚に付着した場合：知見なし。使用後は手を石鹸等で洗うことが望ましい。

目に入った場合：知見なし。

飲み込んだ場合：知見なし。

5. 火災時の措置

消火方法：一般的な消火方法による。

消火剤：水噴霧、粉末薬剤、炭酸ガス、乾燥砂、泡薬剤。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：知見なし。

保護具及び緊急時措置：知見なし。
環境に対する注意事項：知見なし。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：知見なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：一般的な可燃物の取り扱いによるが、製品の品質を保つため、過度な衝撃、積み重ねは避けること。

保管：一般的な可燃物の保管によるが、製品の品質を保つため保管条件は常温常湿とし、直射日光や高温、高湿の場所は避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。（日本産業衛生学会）

ACGIH：設定されていない。

設備対策：知見なし。

保護具：

呼吸用保護具…知見なし。

手の保護具…知見なし。

眼の保護具…知見なし。

皮膚及び身体の保護具…知見なし。

9. 物理的及び化学的性質

外観：ロール状粘着テープ

臭い：ゴム臭を有する

臭いの閾値：データなし

融点・凝固点：データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲：データなし

引火点：データなし

蒸発速度：データなし

燃焼性（固体、気体）：データなし

燃焼又は爆発範囲の上限・下限：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

比重：1.30（粘着剤）

溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数：データなし

自然発火温度：データなし

分解温度：データなし

粘度（粘性率）：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学安定性：知見なし
危険有害反応可能性：知見なし
避けるべき条件：知見なし
混触危険性物質：知見なし
危険有害な分解生成物：知見なし

11. 有害性情報

急性毒性：知見なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：長時間皮膚に貼り付けた状態であると個人による差はあると思うが、かぶれる恐れがある
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：知見なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：知見なし
生殖細胞変異原性：知見なし
発がん性：知見なし
生殖毒性：知見なし
特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露：知見なし
特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露：知見なし
吸引性呼吸器有害性：知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性：知見なし
残留性・分解性：知見なし
生態蓄積性：知見なし
土壌中の移動性：知見なし
オゾン層への有害性：知見なし
その他：海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放置してはならない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・汚染容器及び包装：産業廃棄物処理業者に委託し、廃棄物に関する法律、規則、条約等に従って処理を行なう

14. 輸送上の注意

国際規制：非該当
国連番号・国連分類：なし
容器等級：なし
海洋汚染物質：非該当
MARPOL：非該当

その他：製品の取扱い及び保管に注意する

運搬に際しては吸湿、段ボールの破損、落下がないように積み込み、荷崩れがないようにする。また、直射日光を避けて輸送する

製品の品質を保つため、40℃以下の輸送が好ましい

15. 適用法令

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）（3000 kg）

労働安全衛生法：通知対象物質（鉱油・カーボンブラック）を含有している。

化学物質管理促進法（P R T R法）：政令で指定された化学物質は含有していない。

16. その他の情報

- ① 「安全データシート」は、当社製品をより安全にご使用いただくための注意事項を簡潔にまとめたもので、通常の手扱いを前提としたものです。
- ② 現在までの知見に依っており、情報の完全性を保証するものではなく、随時改訂することがあります。予め御了承下さい。
- ③ 「安全データシート」に記載された情報は、製品の規格仕様や品質を保証するものではありません。本製品の使用条件は、「安全データシート」等をご参考の上、使用者の責任において御検討下さい。

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 KFシールテクトテープ300K
会社名 KFケミカル株式会社
住所 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング9F
担当部門 土木・建築事業部
電話番号 03(6629)9033
FAX番号 03(6629)9023

2. 危険有害性の要約

重要有害性及び影響：知見なし
特有の危険有害性：該当しない
GHS分類：分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
化学品名：該当なし
成分及び含有量（粘着剤）：ブチロ[®]m等を主体とし、以下を含有する。
 鋳油 CAS No. — 、含有量 5.0～8.0wt%
 酸化チタン CAS No 13463-67-7、含有量 5.0～8.0wt%
官報公示整理番号（化審法、安衛法）：該当なし
国連分類及び国連番号：該当なし

4. 応急措置

吸入した場合：知見なし
皮膚に付着した場合：知見なし。使用後は手を石鹼等で洗うことが望ましい。
目に入った場合：知見なし
飲み込んだ場合：知見なし

5. 火災時の措置

消火方法：一般的な消火方法による。
消火剤：水噴霧、粉末薬剤、炭酸ガス、乾燥砂、泡薬剤

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：知見なし

保護具及び緊急時措置：知見なし
環境に対する注意事項：知見なし
封じ込め及び浄化の方法及び機材：知見なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：一般的な可燃物の取り扱いによるが、製品の品質を保つため、過度な衝撃、積み重ねは避けること。

保管：一般的な可燃物の保管によるが、製品の品質を保つため保管条件は常温常湿とし、直射日光や高温、高湿の場所は避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない

許容濃度：設定されていない（日本産業衛生学会）

ACGIH：設定されていない

設備対策：知見なし

保護具：

呼吸用保護具…知見なし

手の保護具…知見なし

眼の保護具…知見なし

皮膚及び身体の保護具…知見なし

9. 物理的及び化学的性質

外観：クリーム色ロール状

臭い：ゴム臭を有する

臭いの閾値：データなし

融点・凝固点：データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲：データなし

引火点：データなし

蒸発速度：データなし

燃焼性（固体、気体）：データなし

燃焼又は爆発範囲の上限・下限：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

比重：1.55

溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数：データなし

自然発火温度：データなし

分解温度：データなし

粘度（粘性率）：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学安定性：知見なし

危険有害反応可能性：知見なし

避けるべき条件：知見なし

混触危険性物質：知見なし

危険有害な分解生成物：知見なし

11. 有害性情報

急性毒性：知見なし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：長時間皮膚に貼り付けた状態であると個人による差はあると思うが、かぶれる恐れがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：知見なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性：知見なし

生殖細胞変異原性：知見なし

発がん性：知見なし

生殖毒性：知見なし

特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露：知見なし

特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露：知見なし

吸引性呼吸器有害性：知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性：知見なし

残留性・分解性：知見なし

生態蓄積性：知見なし

土壌中の移動性：知見なし

オゾン層への有害性：知見なし

その他：海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放置してはならない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・汚染容器及び包装：産業廃棄物処理業者に委託し、廃棄物に関する法律、規則、条約等に従って処理を行なう。

14. 輸送上の注意

国際規制：非該当

国連番号・国連分類：なし

品名：－

容器等級：なし

海洋汚染物質：非該当

MARPOL：非該当

その他：製品の取扱い及び保管に注意する。

運搬に際しては吸湿、段ボールの破損、落下がないように積み込み、荷崩れがないようにする。また、直射日光を避けて輸送する。

製品の品質を保つため、40℃以下の輸送が好ましい。

15. 適用法令

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）（3000 kg）

労働安全衛生法：表示対象物質（鉱油・酸化チタン）を含有している。

通知対象物質（鉱油・酸化チタン）を含有している。

化学物質管理促進法（P R T R法）：政令で指定された化学物質は含有していない。

16. その他の情報

- ① 「安全データシート」は、当社製品をより安全にご使用いただくための注意事項を簡潔にまとめたもので、通常の手扱いを前提としたものです。
- ② 現在までの知見に依っており、情報の完全性を保証するものではなく、随時改訂することがあります。予め御了承下さい。
- ③ 「安全データシート」に記載された情報は、製品の規格仕様や品質を保証するものではありません。本製品の使用条件は、「安全データシート」等をご参考の上、使用者の責任において御検討下さい。

安全データシート

作成日：2019年5月23日

| 1 製品及び会社情報 | |
|------------|------------------------------------------------|
| 製品の名称 | K F シールテクトベース 2000 硬化促進剤 |
| 供給者の会社名 | K F ケミカル株式会社 |
| 住 所 | 東京都港区新橋 1-1-1 |
| 電 話 番 号 | 03-6629-9030 |
| 緊急連絡先 | 土木・建築事業部 03-6629-9033 (ファックス番号03-6629-9023) |
| 推奨用途 | K F シールテクト 2000 用硬化促進剤 |

| 2 危険有害性の要約 | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| GHS 分類 | 物理化学的危険性 | 区分に該当しない | |
| | 健康有害性 | 急性毒性（経口） | 区分 4 |
| | | 急性毒性（経皮） | 区分 4 |
| | | 皮膚腐食性／刺激性 | 区分 1 |
| | | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分 1 |
| | | 生殖細胞変異原性 | 区分 1 |
| | | 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 区分 1 |
| | 環境有害性 | 水生環境有害性短期（急性） | 区分 1 |
| | | 水生環境有害性長期（慢性） | 区分 1 |
| ※上記で記載が無い危険有害性は区分に該当しない、又は分類できない。 | | | |
| GHS ラベル 要素 | 絵表示 |  | |
| | 注意喚起語 | 危 険 | |
| | 危険有害性情報 | <p>飲み込むと有害。 皮膚に接触すると有害。 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 長期継続低影響によって水生生物に非常に強い毒性。</p> | |
| 注意書き | <p>熱、火花、裸火、高温物付近での施工はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 蒸気を吸入しないこと。 作業の際、適切な保護具(保護手袋, 呼吸用保護具, ゴーグル等)を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 取扱後は手をよく洗うこと。</p> | | |

| | |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>皮膚や眼に付着した場合、多量の水でよく洗い、体に異常を感じた場合は、速やかに医師の診断を受けること。</p> <p>子供の手の届かない所に保管すること。</p> <p>環境中に廃棄しないこと。</p> <p>内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p> |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 3 組成及び成分情報 | | | | |
|----------------------|-----------|------------|--------|---------------|
| 化学物質・混合物 | 混合物 | | | |
| GHS 分類に寄与する成分(不純物含む) | 2-エチルキサン酸 | | | |
| 組 成 | 化学名又は一般名 | 濃度範囲 (wt%) | CAS RN | 官報公示整理番号(化審法) |
| | ウレタン樹脂 | 15～25 | 登 録 | 既 存 |
| | 有機アミン | 30～40 | 登 録 | 既 存 |
| | 2-エチルキサン酸 | 20～30 | 登 録 | 既 存 |
| | 硬化剤 | 15～25 | 登 録 | 既 存 |

| 4 応急措置 | |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 吸入した場合 | 気分が悪くなった時は、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。衣類をゆるめ、保温、安静を保ち、速やかに医師の手当てを受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水又は微温湯で流しながら石鹸を使って洗浄する。炎症や痛みなどの症状がでた場合は、医師の手当てを受ける。 |
| 眼に入った場合 | 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コタ外着用の場合、容易に外せる場合は、外して、まぶたの裏まで完全に洗浄する。 |
| 飲み込んだ場合 | 無理に吐き出させず、ただちに医療機関へ搬送して処置を受ける。水で口の中をよく洗わせてもよい。被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。 |

| 5 火災時の措置 | |
|---------------------|------------------------------------|
| 適切な消火剤 | 炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂 |
| 使ってはならない消火剤 | 棒状注水 |
| 火災時の特有の危険有害性 | 樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分、又は腐食性のガスが発生する。 |
| 特有の消火方法 | 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。 |
| 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 適切な保護具（呼吸用保護具等）を使用し可能な場合は風上から消火する。 |

| 6 漏出時の措置 | |
|-----------------------|--------------------------------------------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 作業は換気の良い場所で行い、必要に応じ適切な保護具（保護手袋、呼吸用保護具、エプロン、ゴーグル）を着用する。 |
| 環境に対する注意事項 | 本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 回収、中和：漏出物はウエスで拭取り、密閉容器に回収する。 |
| 二次災害の防止策 | 換気を十分に行う。 関係者以外の立入りを禁止する。 火気厳禁の措置をとる。 |

| 7 取扱い及び保管上の注意 | |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取扱い | <p>技術的対策：8項「ばく露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>安全取扱注意事項：全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い場所で取扱う。</p> <p>換気の悪い場所では局所排気装置を使用する。</p> <p>容器はその都度密閉する。</p> <p>皮膚又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。</p> <p>接触回避：10項「安定性及び反応性」記載の混触危険物質と混合接触してはならない。</p> <p>衛生対策：取扱い後は、よく手を洗うこと。 汚染された作業衣は脱ぐこと。</p> |
| 保管 | <p>安全な保管条件：火気、熱源から遠ざけて保管する。</p> <p>湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。</p> <p>子供の手の届かない所に保管する。</p> <p>10項「安定性及び反応性」記載の混触危険物質と一緒に保管してはならない。</p> <p>安全な容器包装材料：移し変えてはならない。</p> |

| 8 ばく露防止及び保護措置 | |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 許容濃度 | 2-エチルヘキサン酸：5mg/m ³ （ACGIH2007）（原料メーカー SDS2017/12/19 による） |
| 設備対策 | <p>火気厳禁の措置をとる。</p> <p>換気の悪い場所においては、換気の為の装置を設置する。</p> |
| 保護具 | <p>呼吸用保護具：必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用する。</p> <p>手の保護具：必要に応じ有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の保護手袋を着用する。</p> <p>眼の保護具：必要に応じゴーグルを着用する。</p> <p>皮膚及び身体の保護具：体に付着しないように、長袖の作業着等を着用する。</p> |

| 9 物理的及び化学的性質 | |
|--------------|----|
| 物理的状態 | 液体 |

| | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 色 | 褐色 |
| 臭い | アミン臭 |
| 沸点 | 2-エチルヘキサン酸：223℃ |
| 可燃性 | 引火性液体に該当 |
| 爆発下限界及び 爆発上限界 | 2-エチルヘキサン酸：0.8～6.0vol% |
| 引火点 | 156℃（セタ密閉式） |
| 自然発火点 | 2-エチルヘキサン酸：371℃ |
| 分解温度 | データなし |
| pH | データなし |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | 有機アミン：0.0227g/L/20℃（水） 2-エチルヘキサン酸：0.25g/100g/20℃（水） 硬化剤：水に不溶。 |
| n-オクタノール /水分配係数 | 有機アミン：Log pow=1.38（20℃） 2-エチルヘキサン酸：Log pow=2.7（20℃） |
| 蒸気圧 | 有機アミン：32.4 Pa /20℃ 2-エチルヘキサン酸：4.0 Pa /20℃ |
| 密度 | 1.03 g/cm ³ / 23℃（比重カップ） |
| 相対ガス密度（空気=1） | 2-エチルヘキサン酸：5.0 |
| 粒子特性 | データなし |
| 燃焼持続性 | データなし |

10 安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------------|
| 反応性 | 通常の使用では危険な反応はない。 |
| 化学的安定性 | 通常の手扱いは安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 通常の手扱いは危険有害な反応は起こらない。 |
| 避けるべき条件 | 混触危険物質との接触は避ける。 |
| 混触危険物質 | 酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | シアンガス、CO等の有害性ガスを発生するおそれがある。 |

11 有害性情報：混合物のデータが無い為、有害成分の情報を記載。

| | |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 急性毒性 | 有機アミン：LD ₅₀ （経口）ラット 738mg/Kg 2-エチルヘキサン酸：LD ₅₀ （経口）ラット 約2600mg/Kg ：LD ₅₀ （経皮）ウサギ 約1140mg/Kg 硬化剤：LD ₅₀ （経口）ラット >2038mg/kg ：LD ₅₀ （経皮）ウサギ 約1140mg/Kg |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 有機アミン：刺激性なし。 2-エチルヘキサン酸：ウサギ及びモルモットを用いた試験で、壊死、腐食などが見られた。 硬化剤：重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 |
| 眼に対する重篤な 損傷／眼刺激性 | 有機アミン：刺激性あり。 2-エチルヘキサン酸：刺激性や角膜の壊死などが見られた。 硬化剤：重篤な眼の損傷。 |
| 呼吸器感作性 | データなし |

| | |
|---------------------|----------------------------------|
| 皮膚感作性 | 有機アミン：感作性なし。 |
| 生殖細胞変異原性 | 硬化剤：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 |
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | データなし |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | 有機アミン：長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害がある。 |
| 誤えん有害性 | データなし |

12 環境影響情報：混合物のデータが無い為、有害成分の情報を記載。

| | |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生態毒性 | 有機アミン：EC50=5.8mg/L (甲殻類ジズンコ 48hr) 2-エチルhex酸：EC50=85.4mg/L (甲殻類オジズンコ 48hr) 硬化剤：EC50=85.4mg/L (甲殻類オジズンコ 48hr) |
| 残留性・分解性 | 有機アミン：<1%難生分解 2-エチルhex酸：生分解性良好(95%、5日) 硬化剤：生分解性良好(95%、5日) |
| 生体蓄積性 | 有機アミン：BCF=2.75蓄積性なし(計算値) 2-エチルhex酸：蓄積性は低いと推定される(Log pow=2.7) |
| 土壌中の移動性 | 有機アミン：2.18 (Adsorption/Soil, 計算値) 2-エチルhex酸：土壌中の移動性は低いと推測される(Koc=650) |
| ワゾン層への有害性 | モントリオール議定書に記載されている物質の使用はない。 |

13 廃棄上の注意

- ・ 内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- ・ 焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- ・ 廃棄物の種類：内容物〔廃油（安定型産業廃棄物）〕

14 輸送上の注意

| | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 国連番号 | 3082 |
| 品名(国連輸送名) | 環境有害物質(液体) |
| 国連分類 | クラス9 |
| 容器等級 | III |
| 海洋汚染物質 | 含有(オクタン酸(2-エチルhex酸)) |
| 陸上輸送 | 消防法、毒劇法、道路法などに定められた運送方法に従う。 容器の漏れ、破損の無い事を確認し、転倒、落下等が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 |
| 指針番号 | 171(低、中程度の危険性物質) |
| 海上輸送・航空輸送 | 船舶安全法・航空法に定めるところに従う。 |

15 適用法令

- ・ 消防法：第4類第3石油類 危険等級III
- ・ 危険物船舶輸送及び貯蔵規則：非該当
- ・ 労安法：有機則(非該当)，
表示・通知義務対象物質(2-エチルhex酸)

- | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> PRTR 法：第 1 種指定化学物質（2-エチルヘキサン酸：27wt%） 毒物及び劇物取締法：非該当 大気汚染防止法：有害大気汚染物質（2-エチルヘキサン酸） 水質汚濁防止法：非該当 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：該当（13 項参照） |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| | |
|------------------|----------------------------------------------|
| 16 その他の情報 | |
| 出典 | 原料メーカーの(M) SDS N I T E の G H S 分類結果データベース |
| その他 | ホルムアルデヒドの発生、及び石綿の使用は無い。 |

【注意】

- 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また新しい知見により改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

初版作成日： 2024/02/08

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称：KFシールテクトベース2000

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：伸縮目地充填材

使用上の制限：所定の用途以外には使用しないこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：KFケミカル株式会社

住所：〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング9F

電話番号：03-6629-9033

FAX：03-6629-9023

緊急連絡先電話：03-6629-9030

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 2

水生環境有害性 長期(慢性):区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語なし

危険有害性情報

H401 水生生物に毒性

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

応急措置

P391 漏出物を回収すること。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報 (危険有害性成分を対象)

化学物質・混合物の区別：混合物

| 成分名 | 含有量 (%) | CAS No. | 化審法番号 |
|-----------|---------|------------|------------------------|
| 酸化チタン(IV) | 6.6 | 13463-67-7 | 1-558 |
| ミネラルスピリット | 1.8 | 64742-47-8 | 9-1689; 9-1700; 9-1702 |
| 炭酸ジメチル | 1.3 | 616-38-6 | 2-2853 |
| フタル酸ジイソニル | 0.45 | 28553-12-0 | 3-1307 |
| ウンデカン | 0.31 | 1120-21-4 | 2-10 |
| カーボンブラック | 0.11 | 1333-86-4 | — |

注記：含有量は参考値
成分に関する法規制情報は「15.適用法令」を参照。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
いずれの場合も、医師への受診時には製品または安全データシートを持参する。

医師に対する特別な注意事項

適切な応急処置を講ずる。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状水は火災を拡大させる危険があるため使用してはならない。

火災時の特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

火元への着火源を断ち、適切な消火剤を使用して風上から消火する。
関係者以外は安全な場所に退避させること。
漏えいした場合、安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護衣を着用するほか、状況に応じて非浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は区域より退避させる又は近づけない。
作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

環境に対する注意事項

下水道、河川等に流出させ、環境への影響を起こさないように注意する。

下水道、河川等に流出した場合は、関係機関に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合：吸着材(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ空容器に回収した後、残りをウエス等でよく拭き取る。

多量の場合：土砂等(不燃物)で囲い流出防止をした後で、衝撃、静電気にて火花を発生させない材質の用具でドラム等の空容器に回収する。残留分はおがくず、土、砂等で吸着処理する。

回収物類の廃棄物は関係法令に従って処理すること。

二次災害の防止策

周辺の着火源となるものを速やかに除く(喫煙、火花、火炎の禁止)とともに、着火した場合に備えて消火剤を準備する。

排水溝、下水溝、低所、閉鎖場所への流入を防ぐ。

下水道、河川等に流出させ、二次災害、環境汚染を起こさないように注意する。

漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

火気注意(周辺での高温物、火花、火気の使用を禁止)。

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項

眼、皮膚又は衣類に付けないこと。

屋外又は換気の良い場所で取り扱うこと。

接触回避

「10.安全性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

「10.安定性及び反応性」を参照。

直射日光や火気を避けること。

容器を密閉して冷所、換気の良いところで貯蔵すること。

安全な容器包装材料

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

日本産衛学会(2005) 第2種粉じん 吸入性粉じん; 1mg/m³, 総粉じん; 4mg/m³

(カーボンブラック) [原料SDS]

日本産衛学会(2019) 第2種粉じん 吸入性粉じん; 1mg/m³, 総粉じん; 4mg/m³

(ミネラルスピリット)

ACGIH(2003) TWA: 200mg/m³ (P) (皮膚及び上気道刺激; 中枢神経系障害)

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

ACGIH(2005) TWA: 10mg/m³

(カーボンブラック) [原料SDS]

ACGIH(2019) TWA: 3mg/m³

設備対策

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために、排気/換気を行って蒸気が滞留しないようにする。
取り扱い場所の電気機器は防爆型とし、静電気放電に対する予防処置を講じること。
取り扱い場所の近くに、洗眼及び全身洗浄ができる設備を設ける。

保護具**呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

耐薬品、非浸透性の適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

状況に応じて適切な保護メガネ、安全ゴーグル等を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

皮膚を直接曝させないように長袖作業衣を着用すること。

安全のためヘルメット、安全靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：粘稠液体

色：灰色

臭い：特有臭

融点/凝固点：製品としてのデータなし

沸点又は初留点：製品としてのデータなし [炭酸ジメチル] 90°C

沸点範囲：製品としてのデータなし

可燃性：点火性あり (消防法 指定可燃物 可燃性液体類)

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：製品としてのデータなし

爆発下限：[ミネラルスピリット] 1.0vol %

爆発上限：[炭酸ジメチル] 12.9vol %

引火点：>250 [クリーブランド開放法]

自然発火点：製品としてのデータなし

分解温度：製品としてのデータなし

pH：製品としてのデータなし

動粘度：11000mPa·s (25°C [回転粘度計])

動粘性率：製品としてのデータなし

水に対する溶解度：製品としてのデータなし (成分の溶解度のデータは「12.環境影響情報」を参照)

溶媒に対する溶解度：製品としてのデータなし

n-オクタノール/水分分配係数：製品としてのデータなし

蒸気圧：製品としてのデータなし

密度及び/又は相対密度：1.31g/cm³ (23°C [比重カップ法])

相対ガス密度(空気=1)：製品としてのデータなし

粒子特性：製品としてのデータなし

10. 安定性及び反応性**反応性**

水、アルコール、アミンなどの活性水素化合物と反応する。激しく反応する場合、発熱するおそれがある。

水と反応して二酸化炭素を発生する。

化学的安定性

通常の取り扱い条件下においては安定。ただし、水分と徐々に反応して表面より増粘、ゲル化を起こすため、開封後は早めに使い切ることが望ましい。

危険有害反応可能性

水と反応して二酸化炭素を発生するが、密栓容器内で起こると容器が膨れるおそれがあるので注意する。

開封後は不活性ガス(窒素)で十分に置換して密栓すること。

避けるべき条件

火気、加熱、高温多湿、直射日光、長時間の開封などの条件を避ける。

混触危険物質

強酸、強アルカリ、酸化性物質
 危険有害な分解生成物
 燃焼により炭素酸化物(COx)、窒素酸化物(NOx)、シアン化水素などの有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

製品の毒性試験を実施していないため、成分の有害性情報を元に分類した。

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(フタル酸ジイソノニル)

rat LD50>9800mg/kg (EU-RAR, 2003)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(フタル酸ジイソノニル)

rabbit LD50>3160mg/kg (EU-RAR, 2003)

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[会社固有データ]

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

ウサギを用いた試験で刺激性あり(mild)との記述がある。眼への刺激(区分2B)。 (IUCLID,2000)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(炭酸ジメチル)

cat. 2; HSDB, 2003

(フタル酸ジイソノニル)

cat. 2; (DINP-1 (CAS RN: 68515-48-0), DINP-2 (CAS RN: 28553-12-0) 及びDINP-3 (CAS RN: 28553-12-0): 動物体内において毒性学的影響に大きな差異なし): 食安委 器具・容器包装評価書, 2015; EU CLP CLH, 2018

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ウンデカン)

気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ウンデカン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity<7 mm²/s (40°C) (GESTIS, Access on Aug. 2010)

12. 環境影響情報

製品の毒性試験を実施していないため、成分の有害性情報を元に分類した。

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ミネラルスピリット)

魚類 (ブルーギル) LC50=2.2mg/L/96hr (Aquire, 2009)

(フタル酸ジイソノニル)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 >=0.086mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 >=0.14mg/L/96hr

(EURAR, 2003)

(ウンデカン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.011mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2004)

水生環境有害性 長期(慢性)

[会社固有データ]

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

信頼性のある慢性毒性データが得られていない。難水溶性で(水に不溶、ICSC,2002)、急性毒性区分外ではあるが無機化合物で環境中の挙動が不明であることから区分4とした。

水溶解度

(ミネラルスピリット)

0.15 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2013)

(炭酸ジメチル)

溶けない (ICSC, 2005)

(フタル酸ジイソノニル)

< 0.01 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2004)

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

水に不溶 (ICSC,2002)

残留性・分解性

[成分データ]

(フタル酸ジイソノニル)

急速分解性あり (BODによる分解度 : 74% (METI既存点検結果, 2001))

生体蓄積性

[成分データ]

(フタル酸ジイソノニル)

log Pow=8.8 (ICSC, 2004)

(ウンデカン)

log Pow = 6.5 (PHYSPROP DB, 2011)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。

都道府県知事などの認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体があるため、自治体または認可を受けた専門の処理業者の場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

内容物の組成によっては混合廃棄物となる場合があるため、自治体または認可を受けた専門の処理業者に事前に確認して処理を委託すること。

イソシアネート成分を含有するため、容器ごと廃棄して他の廃液等と混ぜないこと。

【硬化前】引火性廃油(特別管理産業廃棄物)と廃プラスチック類(安定型産業廃棄物)の混合物、

【硬化後】廃プラスチック類である。

汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後の空容器等は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って産業廃棄物として処理するか、またはリサイクルにまわす。

内容物が付着している容器等は混合廃棄物となる場合があるため、自治体または認可を受けた専門の処理業者に事前に確認して処理を委託すること。

【紙管、外箱などの紙製容器・包装】リサイクルまたは紙くず(単品の場合、付着物がある場合でも管理型産業廃棄物)

【缶、ドラム、チューブなどの金属製容器】金属くず(単品の場合は安定型産業廃棄物、付着成分があり混合廃棄物となる場合はその安定型・管理型分類に従う)

【瓶などのガラス製容器】ガラスくず(単品の場合は安定型産業廃棄物、付着成分があり混合廃棄物となる場合はその安定型・管理型分類に従う)

【ボトル、チューブ、袋などのプラスチック製容器・包装】廃プラスチック類(単品の場合は安定型産業廃棄物、付着成分があり混合廃棄物となる場合はその安定型・管理型分類に従う)

14. 輸送上の注意

国連番号 : 3082

品名(国連輸送名) : 環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの (接着剤)

国連分類 : 9

容器等級 : III

指針番号: 171

特別規定番号 : 274; 331; 335; 375

IMDG_Code (国際海上危険物規程)

国連番号 : 3082

品名(国連輸送名) : 環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの (接着剤)

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 9

容器等級 : III

特別規定番号 : 274; 335; 969

IATA_DGR (航空危険物規則書)

国連番号 : 3082

品名(国連輸送名) : 環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの (接着剤)

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 9

危険性ラベル : Miscellaneous & Environmentally hazardous

容器等級 : III

特別規定番号 : A97; A158; A197; A215

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 : 該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

「7.取扱い及び保管上の注意」を参照。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。直射日光、雨にばく露されないように運搬する。

保護具、消火器を携帯する。

必要あればイエローカードを携帯する。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定める運搬方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に該当する場合は、当該法規の定める運搬方法に従うこと。

航空輸送 : 航空法に該当する場合は、当該法規の定める運搬方法に従うこと。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

有害性物質 分類9

航空法

その他の有害物件 分類9

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

特化則：非該当

有機則：非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

酸化チタン(IV) (別表第9の191); ミネラルスピリット (別表第9の551); 炭酸ジメチル (令和8年4月1日施行)

名称等を通知すべき危険物及び有害物

カーボンブラック (別表第9の130); 酸化チタン(IV) (別表第9の191); ミネラルスピリット (別表第9の551);

炭酸ジメチル (令和8年4月1日施行); フタル酸ジイソノニル (令和8年4月1日施行)

化学物質排出把握管理促進法(令和5年4月1日施行): 非該当

消防法

指定可燃物

可燃性液体類 (数量 2m³)

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：非該当

廃棄物処理法

「13.廃棄上の注意」を参照。

適用法規情報

この製品に関して適用される国内または国際規制を遵守してください。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

責任の限定について

・現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成したものであり、新しい知見により改訂する場合があります。

・法令改正や製品改良により、改訂する場合があります。

・記載内容に関しては注意を払っていますが、いかなる保証をなすものではありません。

・本製品の通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いください。

安全データシート

作成日：2022年 7月23日

改訂日： 年 月 日

1 製品及び会社情報

製品名 K F シールテクト ベース2000SU
会社名 K F ケミカル株式会社
住 所 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング9F
電話番号 03-6629-9030
緊急連絡先 土木・建築事業部 (TEL 03-6629-9033)
推奨用途及び使用上の制限 土木用弾性シール材

2 危険有害性の要約

GHS分類 物理化学的危険性 非該当
健康有害性 非該当
環境有害性 非該当
GHSラベル要素 絵表示 非該当
注意喚起語 非該当
危険有害性情報 非該当
注意書き
・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
・本来の用途以外には使用しないこと。
・適切な保護具（手袋、ゴーグル等）を着用すること。
・環境への放出を避けること。
・子供の手の届かない所に保管すること。
・内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物 混合物

危険有害成分

(危険有害不純物) 酸化チタン (IV)、 石油ナフサ* (*：高沸点炭化水素に含有)

組 成

| 化学名又は一般名 | 濃度範囲 (wt%) | CAS 番号 | 官報公示整理番号(化審法) |
|----------------|------------|--------|---------------|
| ウレタン樹脂 | 45~55 | 登 録 | 既 存 |
| 無機系充填材 | 40~50 | 登 録 | 既 存 |
| 高沸点炭化水素(石油ナフサ) | 1~10 | 登 録 | 既 存 |

4 応急措置

- ・吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。必要に応じ医師の手当てを受ける。
- ・皮膚に付着した場合 汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹼を使って洗い落とす。
- ・目に入った場合 清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
- ・飲み込んだ場合 水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置

- ・消火剤 水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
- ・特有の危険有害性 樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
- ・特有の消火方法 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
- ・消火を行う者の保護 適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

6 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、ゴーグル）を着用する。
- ・環境に対する注意事項
本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材
回収、中和：本製品はペースト状で流動性が無いので、漏出の恐れは無いが、漏出物はウエスで拭き取り、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・二次災害の防止策：火気厳禁の処置をとる。

7 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い・技術的対策 周辺での火気の使用を禁止する。
換気の良い場所で取扱う。
- ・安全取扱注意事項 容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・接触回避 強酸化剤と混合接触してはならない。
- ・保管・安全な保管条件 火気、熱源から遠ざけて保管する。
湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。子供の手の届かない所に保管する。
- ・混触禁止物質 強酸化剤と一緒に保管してはならない
- ・安全な容器包装材料 移し変えてはならない。

8 ばく露防止及び保護措置

【ばく露防止】

- ・許容濃度 酸化チタン (IV) : 4mg/m³ (原料メーカーSDS : 2013/4/10 による)
高沸点炭化水素 : 1200mg/m³ (原料メーカーSDS : 2013/8/9 による)
- ・設備対策 火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

【保護具】

- ・呼吸器の保護具 必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
- ・手の保護具 必要に応じ手袋を着用する。
- ・目の保護具 必要に応じ保護眼鏡を着用する。
- ・皮膚及び身体の保護具 必要に応じ長袖を着用する。

9 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------|-----------------------------|
| 外 観 | 物理的状态 : ペースト状、 |
| 臭 い | 脂肪族系炭化水素臭 |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | 高沸点炭化水素 : 147~199°C |
| 引火点 | 63°C (セタ密閉式) |
| 自然発火点 | 高沸点炭化水素 : > 200°C |
| 爆発範囲 | 高沸点炭化水素 : 0.6~7.0vol% |
| 蒸気圧 | 高沸点炭化水素 : 210Pa / 20°C |
| 密 度 | 1.30 / 23°C |
| 溶解度 | 高沸点炭化水素 : < 0.1wt% 水 / 20°C |
| 自然発火温度 | 高沸点炭化水素 : > 200°C |

10 安定性及び反応性

| | |
|------------|----------------------------------|
| 反応性 | 空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない。 |
| 化学的安定性 | 通常の手扱いは安定。 |
| 避けるべき条件 | 強酸化剤との接触は避ける。 |
| 混触危険物質 | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | シアンガス |

11 有害性情報

| | |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 急性毒性 | 酸化チタン (IV) : LD50(経口) > 12000mg/kg LD50(経皮) > 10000mg/kg 高沸点炭化水素 : LD50(経口) > 15000mg/kg LD50(経皮) > 3160mg/kg |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 酸化チタン (IV) : 人によっては弱い刺激性がある。 |

高沸点炭化水素：LD50>3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に
中度の刺激を与える

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

酸化チタン（IV）：眼刺激性あり。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

高沸点炭化水素：短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり。

生殖細胞変異原性

高沸点炭化水素：健康影響が予想される。

発がん性

高沸点炭化水素：健康影響が予想される。

生殖毒性

高沸点炭化水素：健康影響が予想される。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

高沸点炭化水素：健康影響が予想される。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

高沸点炭化水素：中枢神経に悪影響することがある。

高沸点炭化水素：長期間及び/又は反復して触れると、皮膚から脂肪が除かれ、痛み、皮膚炎を起こすことがある。

誤えん有害性

高沸点炭化水素：飲み込むないし吐き出す最中に吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

1.2 環境影響情報

生態毒性

高沸点炭化水素：水生生物に対する有害性は予測されない。

残留性・分解性

高沸点炭化水素：易分解性であると予測される。

生体蓄積性

高沸点炭化水素：水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。

土壤中の移動性

高沸点炭化水素：高揮発性のため、環境中に放出されると速やかに大気中に蒸発する。

ガソリン層への有害性

モトリール議定書に記載されている物質の使用はない。

1.3 廃棄上の注意

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
- ・ 燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は防護マスクを使用する。
- ・ 洗浄処理した排水、焼却等により発生した廃棄物も、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託する。
- ・ 廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）〕

1.4 輸送上の注意

| | |
|-----------|-----|
| 国連番号 | 非該当 |
| 品名（国連輸送名） | 非該当 |
| 国連分類 | 非該当 |
| 容器等級 | 非該当 |

| | |
|--------|---------------------------------------------|
| 海洋汚染物質 | 非該当 |
| 陸上輸送 | 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。 |
| 海上輸送 | 船舶安全法に定めるところに従う。 |
| 航空輸送 | 航空法に定めるところに従う。 |

1.5 適用法令

| | |
|------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 消防法 | 指定可燃物（可燃性液体類） |
| 労安法 | 有機則（第3種有機溶剤：石油ナフサ） 表示・通知義務対象物質（酸化チタン(IV)：0～10wt%，石油ナフサ 10～20wt%） |
| PRTR法 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 大気汚染防止法 | 非該当 |
| 水質汚濁防止法 | 油分排出規制対象（5mg/L 許容濃度：石油ナフサ） |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | |

1.6 その他の情報

出典 原料メーカーのSDS
NITEのGHS分類結果データベース
その他 ホルムアルデヒドの発生および石綿の使用は無い。

【注意】

- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の実施を前提としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

作成日 2020年10月26日

1. 製品及び会社情報

製品名 K F シールテクトミドルコート 硬化剤

会社名 K F ケミカル株式会社
住所 東京都港区新橋1丁目1番1号日比谷ビルディング9階
担当部門 土木・建築事業部
電話番号 03-6629-9033
F A X 番号 03-6629-9023
緊急連絡先 担当部門に同じ
推奨用途及び使用上の制限事項 建築用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分外
急性毒性
経口： 区分外
経皮： 区分外
吸入（ガス）： 分類できない
吸入（蒸気）： 分類できない
吸入（粉塵、ミスト）： 分類できない
皮膚腐食性/刺激性： 区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性： 区分2B
感作性
呼吸器： 区分1
皮膚： 区分1
生殖細胞変異原性： 分類できない
発がん性： 分類できない
生殖毒性： 区分2
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）： 区分3
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）： 分類できない
吸引性呼吸器有害性： 分類できない
水生環境
急性有害性： 区分外
慢性有害性： 分類できない

GHSラベル要素



危険有害性情報：

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
眼刺激
呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ
生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い
皮膚刺激
長期または反復暴露による臓器(呼吸器)の障害

注意書き：

<<予防策>>

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
取扱い後はよく洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。
保護手袋を着用すること。

<<対応>>

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること
取り扱った後、手を洗うこと。
特別処置が緊急に必要な場合
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。
粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、又は二酸化炭素、防災砂を用いて消火すること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断 / 手当てを受けること。

<<保管>>

施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

<<廃棄>>

内容物や容器を、国際 / 国 / 県都道府県 / 市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性：

可燃性がある。

熱、火花及び火炎で着火することがある。

3 . 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： イソシアネート系塗料

濃度又は濃度範囲：

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | CAS No |
|-----------------------------|----------|----------|
| メチレンビス(4, 1-フェニレン)=ジイソシアネート | 27.92% | 101-68-8 |

法規制対象成分：

| 成分 | 安 衛 法 | PRTR 法 |
|-----------------------------|-------|-------------------|
| メチレンビス(4, 1-フェニレン)=ジイソシアネート | 通知対象物 | 第一種指定化学物質 第 448 号 |

4 . 応急措置

吸入した場合：

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。

呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。

嘔吐物は飲み込ませないようにする。

直ちに医師の手当を受けること。

皮膚に付着した場合：

付着物を布にて素早く拭き取る。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。 溶剤、シンナーは使用しないこと。

外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

目に入った場合：

直ちに大量の清浄な流水で15 分以上洗う。 まぶたの裏まで完全に洗う。

出来るだけ速く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

最も重要な徴候及び症状：

特になし

応急措置をする者の保護：

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項：

症状に応じた治療を行う。

5 . 火災時の措置

消火剤： 炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂

使ってはならない消火剤： 水を消火に用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性： 情報なし

当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。

特有の消火方法： 指定の消火剤を使用する。

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上から行う。

消火を行う者の保護： 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6 . 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置：

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。

環境に対する注意事項：

河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の

例：水 / 炭酸ナトリウム / 液体洗剤 = 90-95 / 5-10 / 0.2-2 (重量比)

二次災害の防止策：

付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

7 . 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

静電気対策のため、装置等を接地し、電気機器類は防爆型を使用する。

工具は火花防止型のものを使用する。

作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。

皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

局所排気・全体排気：

密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。

注意事項：

取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

換気の良い場所で取り扱う。

指定された以外の材料と混合しないこと。

周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。

容器はその都度密栓する。

使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。

漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発散させない。

容器は転倒、落下、衝撃、または引きずる等の取り扱いをしてはならない。

接触、吸入、あるいは飲み込まない。

屋外、又は換気のよい区域でのみ使用する。

安全取扱い注意事項：

特になし

保管

技術的対策：

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

適切な保管条件：

日光の直射を避けること。

通風の良い所に保管すること。

火気、熱源から遠ざけて保管すること。

安全な容器包装材料：

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8 . 暴露防止及び保護措置

設備対策：

取扱い設備は防爆型を使用する。

排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。

液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は接地する。

取扱い場所の近くに高温、発火源、となるものが置けない設備にする。

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にすること。

タンク内部等の密閉場所で作業をする場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。

長時間取り扱う場合、給排気が十分にとれ暴露を受けない設備にする。

管理濃度：

設定されていない

許容濃度：

| | | | |
|-----------------------------|-----------------------|-----|----------|
| メチレンビス(4, 1-フェニレン)=ジイソシアネート | 0.005ppm | TWA | ACGIH |
| メチレンビス(4, 1-フェニレン)=ジイソシアネート | 0.05mg/m ³ | TWA | 日本産業衛生学会 |

保護具

呼吸器の保護具：

有機ガス用防毒マスクを着用する。

密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具：

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具：

保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具：

静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。

状況に応じて適切な保護具を着用すること。

適切な衛生対策：

取扱い後はよく手を洗うこと。

9 . 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------|-------------|
| 形状： | 高粘性液体 |
| 色： | 黒色 |
| 臭い (臭いの閾値)： | 殆ど無臭 |
| pH： | データなし |
| 融点/凝固点：製品 | データなし |
| 沸点：製品 | データなし |
| 初留点：製品 | データなし |
| 沸騰範囲：製品 | データなし |
| 引火点：製品 | 225°C |
| 自然発火温度 (発火点)：製品 | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲 (下限)：製品 | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲 (上限)：製品 | データなし |
| 蒸気圧：製品 | データなし |
| 蒸気密度：製品 | データなし |
| 比重 (相対密度)：製品 | 1.05 ~ 1.15 |
| 溶解性：製品 | データなし |
| オクタノール/水分配係数：製品 | データなし |

分解温度：製品 データなし
その他のデータ： 特になし

10 . 安定性・反応性

安定性：

通常の取り扱い条件では安定である。

標準的な条件では反応しない。

危険有害反応可能性：

NCO 基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器の膨れ、場合によっては破裂することもある。

避けるべき条件：

情報なし

水、湿気、高温の物体、火花、裸火、静電気火花

混触危険物質：

アミン、アルコール、水と反応する。

危険有害な分解生成物：

大量に燃焼すると爆発の危険性がある。CO等の有害ガスを発生する恐れがある。

窒素酸化物

11 . 有害性情報

急性毒性：

| | | | |
|-----------------------------|---------------|-------------|-------|
| メチレンビス(4, 1-フェニレン)=ジイソシアネート | 31600mg/kg | 経口ラット(LD50) | CICAD |
| メチレンビス(4, 1-フェニレン)=ジイソシアネート | 0.369mg/l-4hr | 吸入ラット(LC50) | ACGIH |

皮膚腐食性/刺激性： データなし

眼に対する重篤な損傷/刺激性： データなし

呼吸器感作性/皮膚感作性： データなし

変異原性(生殖細胞変異原性)： データなし

発がん性： データなし

生殖毒性： データなし

特定標的臓器/全身毒性 - 単回暴露： データなし

特定標的臓器/全身毒性 - 反復暴露： データなし

吸引力呼吸器有害性： データなし

12 . 環境影響情報

生態毒性

魚類：製品 情報なし

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 甲殻類：製品 | 情報なし |
| 藻類：製品 | 情報なし |
| 残留性/分解性：製品 | 情報なし |
| 生体蓄積性：製品 | 情報なし |
| 土壌中の移動性：製品 | 情報なし |
| 他の有害影響：製品 | 漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。 |
| 製品 | 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。 |

13 . 廃棄上の注意

廃塗料、容器の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理を行うか、業者に委託すること。

廃塗料などを焼却処理する場合、珪藻土等に吸着させて、開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14 . 輸送上の注意

国際規制

国連分類： 分類基準に該当しない

国連番号： 分類基準に該当しない

品名（国連輸送品名）： 分類基準に該当しない

容器等級： 分類基準に該当しない

海洋汚染物質： 分類基準に該当しない

国内規制： 特になし

特別の安全対策：

取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

輸送の特定の安全対策及び条件：

消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合はそれぞれの該当法規に定められた運送方法に従う。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

応急措置指針番号： 171

15 . 適用法令

<製品>

P R T R 法施行令第 1 条別表第 1 第 1 種指定化学物質

消防法第 2 条危険物 別表第 4 類 引火性液体(第 4 石油類・ 非水溶性液体)

労働安全衛生法施行令第 1 8 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき有害物

16 . その他情報

引用文献

(社) 日本塗料工業会 MSDS 用化学物質データベース (塗料用) 第 5 版

(社) 日本塗料工業会 GHS 対応 MSDS ・ ラベル作成ガイドブック (混合物 (塗料用)) 初版

(独) 製品評価技術基盤機構化学物質管理センター データベース

国際化学物質安全カード (I C S C)

丸善 ザックス 有害物質データブック

原材料メーカー MSDS

- (1) このMSDS は、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
- (2) 当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
- (3) 取扱いには十分ご注意ください。
- (4) このMSDS は新しい知見により予告なく改定することがあります。

安全データシート

作成日 2020年10月26日

1. 製品及び会社情報

製品名 K F シールテクトミドルコート 主 剤

会社名 K F ケミカル株式会社
住所 東京都港区新橋1丁目1番1号日比谷ビルディング9階
担当部門 土木・建築事業部
電話番号 03-6629-9033
F A X 番号 03-6629-9023
緊急連絡先 担当部門に同じ
推奨用途及び使用上の制限事項 建築用

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

引火性液体： 分類できない

急性毒性

経口： 区分 4

経皮： 区分外

吸入 (ガス)： 分類対象外

吸入 (蒸気)： 区分外

吸入 (粉塵、ミスト)： 区分外

皮膚腐食性/刺激性： 区分 3

眼に対する重篤な損傷性/刺激性： 区分 2

感作性

呼吸器： 分類できない

皮膚： 区分外

生殖細胞変異原性： 区分 2

発がん性： 区分 1

生殖毒性： 区分外

特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)： 区分 1

特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)： 区分 2

吸引性呼吸器有害性： 区分外

水生環境

急性有害性： 区分 2

慢性有害性： 区分 2

GHSラベル要素



危険有害性情報：

遺伝子損傷による疾患のおそれの疑い

飲み込むと有害

強い眼刺激

軽度の皮膚刺激

水生生物に毒性

臓器の障害（既知の部位は以下に明記する）

長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ（既知の部位は以下に明記する）

長期的影響により水生生物に毒性

発がんのおそれ

臓器(血液系)の障害

長期または反復暴露による臓器(肝臓)の障害のおそれ

長期または反復暴露による臓器(血液系)の障害のおそれ

長期または反復暴露による臓器(呼吸器)の障害のおそれ

注意書き：

<<予防策>>

（必要な時以外は）環境への放出を避けること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

使用前に取扱説明書を入手すること。

取扱い後はよく洗うこと。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。

保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

<<対応>>

飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断 / 手当てを受けること。

取り扱った後、手を洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断 / 手当てを受けること。

暴露した場合：医師に連絡すること

漏出物を回収すること。

<<保管>>

施錠して保管すること。

<<廃棄>>

内容物や容器を、国際 / 国 / 県都道府県 / 市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし

3 . 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： アミン系塗料

濃度又は濃度範囲：

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | CAS No |
|----------------------------|----------|----------|
| 3,3-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン | 19.83% | 101-14-4 |

法規制対象成分：

| 成分 | 安 衛 法 | PRTR 法 |
|----------------------------|-------------|-------------------|
| 3,3-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン | 表示対象物／通知対象物 | 第一種指定化学物質 第 160 号 |

4 . 応急措置

吸入した場合：

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。

呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。

嘔吐物は飲み込ませないようにする。

直ちに医師の手当を受けること。

皮膚に付着した場合：

付着物を布にて素早く拭き取る。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。 溶剤、シンナーは使用しないこと。

外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

目に入った場合：

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 まぶたの裏まで完全に洗う。

出来るだけ速く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

最も重要な徴候及び症状：

特になし

応急措置をする者の保護：

特になし

医師に対する特別な注意事項：

特になし

5 . 火災時の措置

消火剤： 炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂

使ってはならない消火剤： 水を消火に用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性： 情報なし

特有の消火方法： 指定の消火剤を使用する。

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上から行う。

消火を行う者の保護： 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6 . 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置：

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。

環境に対する注意事項：

河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

二次災害の防止策：

付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

7 . 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

静電気対策のため、装置等を接地し、電気機器類は防爆型を使用する。

工具は火花防止型のもを使用する。

作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。

皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

局所排気・全体排気：

密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。

注意事項：

取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

換気の良い場所で取り扱う。

指定された以外の材料と混合しないこと。

周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。

容器はその都度密栓する。

使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。

過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

安全取扱い注意事項：

特になし

保管

技術的対策：

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

適切な保管条件：

日光の直射を避けること。

通風の良い所に保管すること。

火気、熱源から遠ざけて保管すること。

安全な容器包装材料：

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8 . 暴露防止及び保護措置

設備対策：

取扱い設備は防爆型を使用する。

排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。

液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は接地する。

取扱い場所の近くに高温、発火源、となるものが置けない設備にする。

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にすること。

タンク内部等の密閉場所で作業をする場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。

長時間取り扱う場合、給排気が十分にとれ曝露を受けない設備にする。

管理濃度：

3, 3 - ジクロロ - 4, 4' - ジアミノジフェニルメタン 0.005mg/m³

許容濃度：

3, 3 - ジクロロ - 4, 4' - ジアミノジフェニルメタン 0.01ppm TWA A C G I H

保護具

呼吸器の保護具：

有機ガス用防毒マスクを着用する。

密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具：

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具：

保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具：

静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。

状況に応じて適切な保護具を着用すること。

適切な衛生対策：

取扱い後はよく手を洗うこと。

9 . 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------|-------------|
| 形状： | 高粘性液体 |
| 色： | 淡黄色 |
| 臭い（臭いの閾値）： | 殆ど無臭 |
| pH： | データなし |
| 融点/凝固点：製品 | データなし |
| 沸点：製品 | データなし |
| 初留点：製品 | データなし |
| 沸騰範囲：製品 | データなし |
| 引火点：製品 | (参考値) 221.1 |
| 自然発火温度（発火点）：製品 | データなし |
| 燃焼性（固体、ガス）：製品 | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲（下限）：製品 | 0.4Vol% |
| 燃焼又は爆発範囲（上限）：製品 | 2.9Vol% |
| 蒸気圧：製品 | データなし |
| 蒸気密度： | 該当しない |
| 蒸発速度：製品 | データなし |
| 比重（相対密度）：製品 | 1.0 ~ 1.1 |
| 溶解性： | 該当しない |
| オクタノール/水分配係数：製品 | データなし |
| 分解温度： | 該当しない |
| その他のデータ： | 特になし |

10 . 安定性・反応性

安定性：

通常の取り扱い条件では安定である。

標準的な条件では反応しない。

危険有害反応可能性：

酸化剤と反応し、火災になることがある。

避けるべき条件：

情報なし

高温の物体、火花、裸火、静電気火花

酸化剤

混触危険物質：

情報なし

危険有害な分解生成物：

大量に燃焼すると爆発の危険性がある。CO等の有害ガスを発生する恐れがある。

1.1 . 有害性情報

急性毒性：

| | | | |
|----------------------------|-------------|--------------|---------------|
| 3,3-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン | 1,140mg/kg | 経口ラット(LD50) | 環境省リスク評価 |
| 3,3-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン | >5,000mg/kg | 経皮ラビット(LD50) | CERI ハザードデータ集 |

皮膚腐食性/刺激性： データなし

眼に対する重篤な損傷/刺激性： データなし

呼吸器感作性/皮膚感作性： データなし

変異原性（生殖細胞変異原性）： データなし

発がん性： データなし

生殖毒性： データなし

特定標的臓器/全身毒性 - 単回暴露： データなし

特定標的臓器/全身毒性 - 反復暴露： データなし

吸引性呼吸器有害性： データなし

1.2 . 環境影響情報

生態毒性

魚類：製品 情報なし

甲殻類：

| | | | |
|----------------------------|---------------|--------|-----------------|
| 3,3-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン | 0.25mg/l-48hr | オオミジンコ | CERI・NITE有害性評価書 |
|----------------------------|---------------|--------|-----------------|

製品 情報なし

藻類：製品 情報なし

残留性/分解性：製品 情報なし

生体蓄積性：製品 情報なし

土壌中の移動性：製品 情報なし

他の有害影響：製品 漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
製品 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13 . 廃棄上の注意

廃塗料、容器の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理を行うか、業者に委託すること。

廃塗料などを焼却処理する場合、珪藻土等に吸着させて、開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14 . 輸送上の注意

国際規制

国連分類： 9:その他の有害性物件

国連番号： 3082

品名(国連輸送品名)： 環境有害物質

容器等級： 包装等級3

海洋汚染物質：

国内規制：

特になし

特別の安全対策：

取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件：

消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合はそれぞれの該当法規に定められた運送方法に従う。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

応急措置指針番号： 171

15 . 適用法令

<製品>

P R T R 法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質

消防法第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第4石油類・非水溶性液体)

労働安全衛生法施行令第18条 名称等を表示すべき有害物

労働安全衛生法施行令第18条の2 別表第9 名称等を通知すべき有害物

船舶安全法 危規則第2,3条危険物告示別表第1 有害性物質

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 海洋汚染物質・個品運送

<3, 3 - ジクロロ - 4, 4' - ジアミノジフェニルメタン>

特定化学物質 第2類物質

16 . その他情報

引用文献

(社)日本塗料工業会 MSDS用化学物質データベース(塗料用)第5版

(社)日本塗料工業会 GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック(混合物(塗料用))初版

(独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター データベース

国際化学物質安全カード(ICSC)

丸善 ザックス 有害物質データブック

原材料メーカーMSDS

- (1) このMSDS は、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
- (2) 当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
- (3) 取扱いには十分ご注意下さい。
- (4) このMSDS は新しい知見により予告なく改定することがあります。